

2009 年度東海公衆衛生学会総会 議事録

2009/8/7 作成

- ・資料は添付されておりません。総会資料をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください。

平成 21 年 7 月 25 日 於 名古屋市立大学医学部研究棟 11 階講義室 A

浜島信之理事長、長谷川弘之大会長の挨拶の後、長谷川弘之大会長が議長に推薦され、承認された。

現在の正会員数 351 名のうち、65 名の出席、105 名の委任状があり、3 分の 1 を満たしていることが確認された。

報告事項

1) 会員の状況 (資料 1)

事務局報告。平成 21 年 7 月 17 日の時点で正会員 351 名で、昨年度の同時期 (369 名) に比べ、会費切れの人を含めて 18 名減。今年度の会費請求を 4 月上旬に郵送したが、7 月 17 日の確認では 29% の方が未納。是非郵便局の自動払込の利用をお願いしたい。限られた財源のなかで、請求書の郵送料が会計を圧迫している。できれば一度の請求で納入するよう協力が呼びかけられた。

2) 第 55 回学術大会の開催について

大会事務局櫻井令子参事より、学会のメインテーマ、シンポジウムの企画、一般演題数、午前中の参加人数などについて報告があった。

審議事項

1) 平成 20 年度事業報告 (資料 2 上段)

理事会を年 3 回開催、12 月には理事会通信を発行し、ホームページ上に掲載した。また同じく 12 月に会員名簿を作成、配布し、1 月には役員選挙を行って、新理事、新評議員を選出、3 月には新役員により新理事長を決定した。

2) 平成 20 年度決算報告 (資料 3)

収入の部については、一般会費が予算より 35,000 円多く納入され、また第 54 回大会事務局より 91,154 円のご寄付があり、1,022,993 円の収入。支出としては、大会事務局の都合上、第 55 回学術大会準備金を平成 21 年度予算に繰越したが、その他はほぼ予算どおり消化し、合計で 976,076 円の支出で、46,917 円残すことができた。昨年度からの繰越金には手をつけず、計 643,569 円を平成 21 年度に繰越した旨が事務局より説明され、監事の松原史朗先生より正しく会計が処理されている監査結果が報告された。

3) 平成 21 年度事業計画 (資料 2 下段)

5 月に事務局を名古屋市立大学公衆衛生学から名古屋大学予防医学へ移転、また、例年通り理事会を 3 回開催し、12 月に理事会通信を発行する旨、事務局より説明があった。

4) 平成 21 年度予算承認 (資料 4)

支出は例年の実績に基づき、1,050,000 円と算出した旨、説明があった。

5) 平成 22 年度第 56 回学術大会について

岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野の永田知里先生より、第 56 回学術大会が平成 22 年岐阜県にて開催予定の旨が説明された。

すべての審議事項は承認された。